

令和5年度 自己評価結果公表シート

認定こども園フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびいきいきした保育の中で、未来を担う、「心」・「知」・「体」を育成します。
「心」 友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
「知」 自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
「体」 「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
人材確保	人材確保のため、各種団体主催の就職フェアへの参加、OB 教諭の復帰活動や保護者の方の内有資格者・保育経験者に対する採用活動を積極的に実施した結果、令和5年度途中採用者及び令和6年度採用者を合わせて、6名の新卒者を含む21名の教職員を採用した。
教務改善及び合理化の推進	教職員の不要な負担を減らし、教育保育の質を高めることを目的として、教職員間で従前の業務のあり方を再度見直し、改善すべき課題をリストアップし、合理化や代替策により、積極的な改善を図った。結果として、乳児クラスにおいては、育児担当制を導入することができた。よりきめ細かい保育を実施することができた。また令和6年度より、年中児の歌唱指導、年長児の数のお稽古及びパソコン指導の休止と誕生会を保護者参加型に変更することにした。
教職員間の意思疎通と協力体制	任教諭・非常勤教諭・事務職員などの職種等の違いによる関係ミスがないよう、常にコミュニケーションを取りながら意思の疎通を図り、連絡・伝達事項については、関係する教職員に対して、チャットワーク、メール等を活用し、連絡伝達ミスがないように努めた。
安全対策	園が所有する通園バスに、安全装置を設置した。設備面において、大型遊具等の撤去や園庭と駐車場の境界にフェンスを設置した。また、0歳児と1歳児用として便器を増設した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達のよい援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

評価項目	取組状況
人材確保	各種団体主催の就職フェアへの参加、OB 教諭の復帰活動や保護者の方の内有資格者・保育経験者に対しての採用活動並びに養成校へ訪問し学生の皆様の実習参加園見学などの要請を積極的に行う。
業務の効率化と働きやすい環境作り	教職員の不要な負担を減らし、教職員を交えて従前の業務のあり方を見直す。改善すべき課題をリストアップし、合理化や代替策により、積極的な改善を図る。職員の負担軽減や子供と関わる時間を確保することを目的とする。
子ども目線の活動の実施	子どものつぶやき・興味・関心を拾い、食育(おにぎり作りなど)や園外活動(お散歩など)などの子ども自身が体験できる活動を行う。
職員の知識の向上	外部から講師を招いた研修や、外部での研修の受講・視察を行い、自園の活動に反映させる。また、他の職員にアウトプットすることにより共通理解を深める。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。